

普及活動情勢報告（令和４年９月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

直販所農産物の安全性を守るために ～JA高知県みどり市出荷者研修会～



研修会の様子

８月２９・３０・３１日、９月４日に四万十町にある直販所みどり市の出荷者を対象に、普及所職員が講師となり、正しい農薬の使い方研修会が開催され、合計約５０名の参加がありました。

県内で発生した農薬事故の事例を交えながら、農薬の誤使用のないように散布前に注意する点や、散布後の器具の洗浄方法等について説明しました。

普及所では、今後も直販所の農産物の安全性を守るためJAと連携しながら出荷者への指導を行っていきます。

農業経営支援と税制度改正の情報提供 ～四万十町認定農業者連絡協議会総会・研修会～



研修会の様子

９月９日、四万十町認定農業者連絡協議会総会と研修会が開催され、町内の認定農業者７名の参加がありました。

総会終了後の研修会は農業経営に関する情報提供が行われ、JA、普及所、町農林水産課、家畜保健衛生所から、それぞれ農業経営支援制度の紹介を行ったほか、基調講演では税理士の講師から来年から導入される消費税インボイス制度について説明が行われました。

普及所では、農業者に対する経営支援をより一層行っていきます。

吟の夢の適期刈取りにむけて ～JA高知県四万十酒米生産部会～



現地検討会の様子

９月８日、JA高知県四万十酒米生産部会の吟の夢の刈取り前現地検討会が開催され、生産者６名が参加しました。

普及所は本年の気象の推移や出穂後の積算気温を目安とした刈取り時期を示しました。

生産者とは各ほ場を回りながら、実際の穂の熟れ具合から刈取り時期について共有をしました。

普及所は、今後もJAと連携しながら、高品質な酒米生産を推進していきます。

農業改良普及所って知っちょう？農業トーク！ ～高校出前授業～



窪川高校1年生に高知県の農業について紹介

9月14日、四万十町にある県立窪川高等学校で、高知県や四万十町の農業について授業が行われ、1年生37名や教職員が参加しました。この取組は四万十町役場の主催で、農業を職業選択の一つとして考えてもらうために、地域の農業や役場やJAなど関係機関の取り組みへの理解を深めてもらおうと開催されました。

普及所は、園芸王国高知県でニラやショウガなどが四万十町で生産されていること、関係機関と協力して農家の所得向上を支援していることを紹介しました。参加者の中には、家の農作業を手伝う生徒などもあり、全員が町内の身近な取り組みについて熱心に耳を傾けていました。

普及所は今後も、農業の担い手確保に向けて、関係機関と連携して支援していきます。

写真の表現技術を学び普及活動に活かす ～普及OBの写真家を招いた職場研修～



研修会の様子

9月6日、普及活動に活かす写真の撮影方法を学ぶために普及所職員を対象に研修会を開催し、13名が参加しました。普及OBの写真家を講師に招き、撮影方法と表現技術について学びました。

講師からは、「近くへ寄って撮る（人物を大きく）」などの撮影のポイントや撮った写真から余分な部分をトリミングして、主題を引き立たせる表現方法などが説明されました。

第二部では、職員が撮影した写真を題材に、トリミングの実演と質疑応答がされました。職員からは、早速写真撮影に役立てたいとの声が聞かれました。

普及所は、今回の研修を活かし指導資料や活動実績書など、見て伝わる画像作成に取り組めます。